

# 立形万能ボールタップ

V538-5X-13

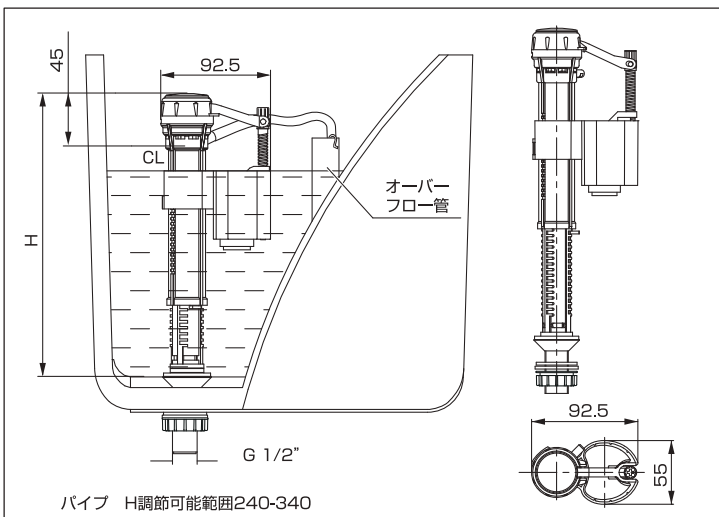
## 施工・取扱説明書

施工、ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。

お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

### 本製品について 寸法図



### 本製品について 安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認してください。

#### 注意

⊘ トイレ用のロータンクボールタップです。他の用途には使用できません。

⊘ 12mm以上の厚みのある陶器には、取付けできません。

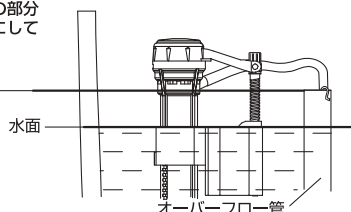
⊘ 飲用不可な井戸水には使用できません。

⊘ 下給水専用です。下給水以外のトイレには使用しないでください。

⊘ 補給ホースをオーバーフロー管に取付ける際は、水面よりも低くしないでください。

⊘ ボールタップを取付ける際は、右図の部分より水面の位置が高くなるようにしてください。（逆流予防の為）

オーバーフロー管よりこの位置を高くしてください



### 本製品について 適切な使用条件

〔水圧について〕

給水圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧してください。

〔水質・用途について〕

使用可能水質	上水道水	用途	一般住宅用
--------	------	----	-------

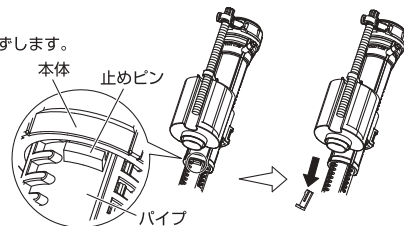
### 施工について 施工手順

1 止水位置を仮調節します。

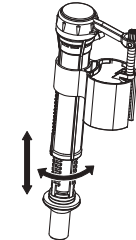
(1) 止めピンを黒い矢印方向にはずします。

#### 注意

- 止めピンははずしにくいので力を入れてはずしてください。
- 止めピンをロータंकや便器に落としたりなくさないよう注意してください。



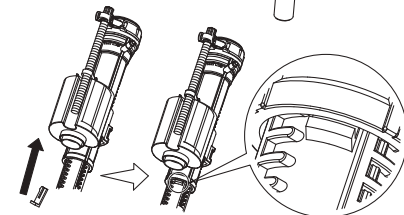
(2) 本体を反時計方向にまわし、上下移動で適切な位置まで調節できたら、時計方向にまわして本体を締めます。



(3) 止めピンを黒い矢印方向に取り付けます。

#### 注意

- 止めピンは取付けにくいので力を入れて取付けてください。
- 止めピンをロータंकや便器に落としたりなくさないよう注意してください。

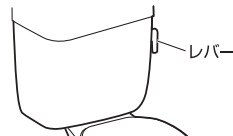


2 止水栓を閉めます。



3 ロータंकのレバーをまわし、タンク内の水を流します。

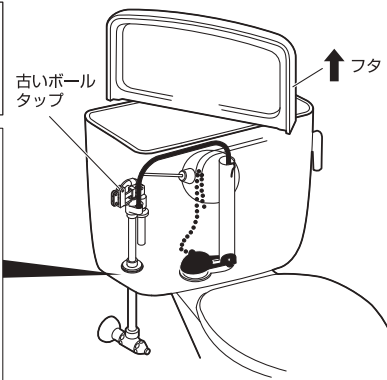
※配管内のゴミ、土砂などは取付前にきれいに流しておいてください。



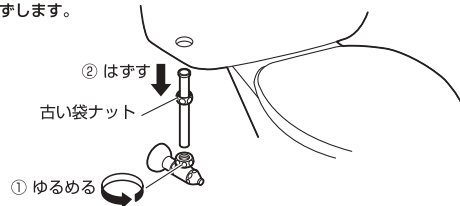
4 ロータंकのフタを開け、古いボールタップを取りはずします。

#### 注意

- フタは重いので落下などに注意して作業を行ってください。
- タンク内はきれいに掃除してください。



5 古い袋ナットを取りはずします。

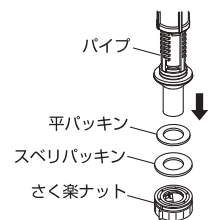


6 新しいボールタップを取付けます。

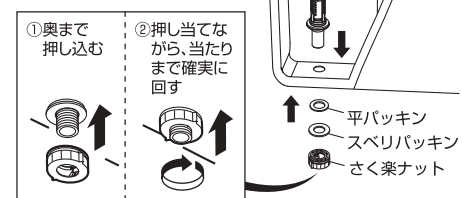
#### 注意

- ボールタップ・補給ホースを取付ける際は、水面の位置に注意してください。参照：表面「安全上のご注意」
- さく楽ナットは、工具で回さないでください。

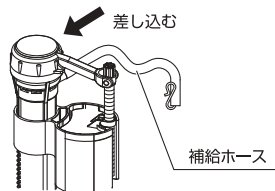
(1) パイプ下部のさく楽ナット、スベリパッキン、平パッキンをはずします。



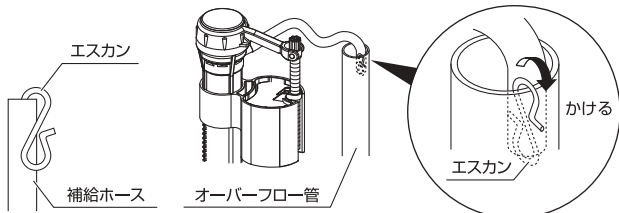
(2) パイプを取付穴部に差し込み、平パッキン、スベリパッキン、さく楽ナットの順に取付けます。



(3) 水を補給する必要があるタンクの場合は、補給ホースを本体に差し込みます。

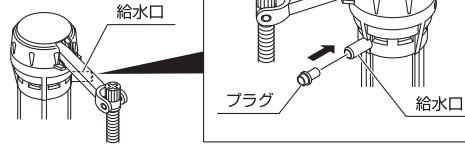


(4) 補給ホースに付いているエスカンをオーバーフロー管にかけます。

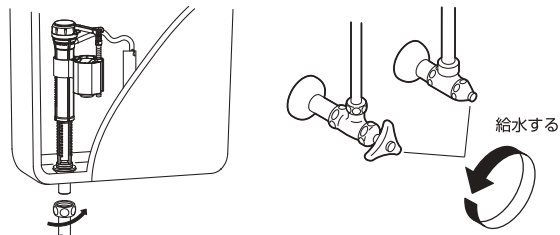


**補給ホースを使用しない場合**

補給ホースを使用しない場合は、同梱のプラグを給水口に差し込んでください。



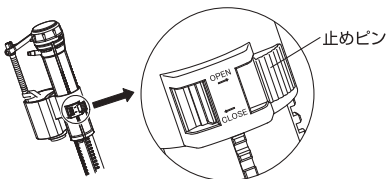
(5) 給水管に接続し、給水します。その後、各接合部の水漏れ点検をします。



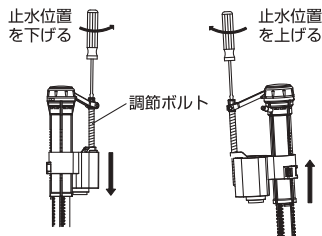
**7 止水位置を微調節します。**

(1) 止めピンをOPENにします。

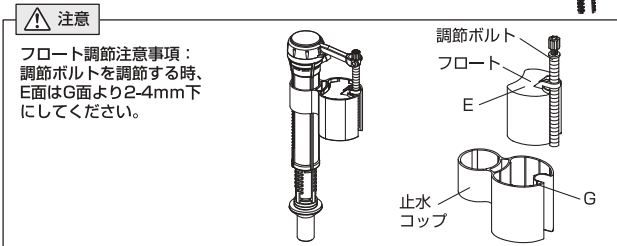
**注意**  
止めピンは動かすのに力を入れて動かしてください。



(2) 止水位置を下げる：  
止水コップを適切な位置まで調節し、調節ボルトを反時計方向にまわして、フロートを適切な位置に調節します。  
(参照：フロート調節注意事項)



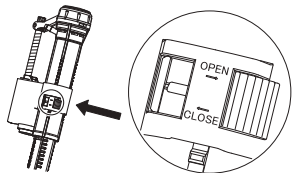
止水位置を上げる：  
調節ボルトを時計方向にまわして、フロートを適切な位置に調節し、止水コップが適切な位置になるように調節します。  
(参照：フロート調節注意事項)



**注意**  
フロート調節注意事項：  
調節ボルトを調節する時、E面はG面より2-4mm下にしてください。

(3) 止めピンをCLOSEにします。

**注意**  
止めピンは動かすのに力を入れて動かしてください。



**8 ロータンクのフタをのせます。**

**注意**  
フタは重いので落下などに注意して作業を行ってください。

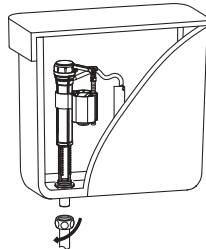
**9 ロータンクのレバーを開き作動および各接続部の水漏れ点検をします。異常がなければ完了です。**

※水が止まらない場合は、「故障?その前に」に従って点検してください。

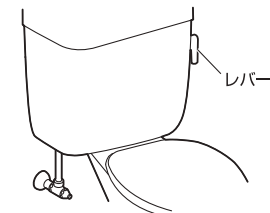
**お手入れ ストレーナの掃除**

長期間使用し水の出が悪くなった時にお調べください。

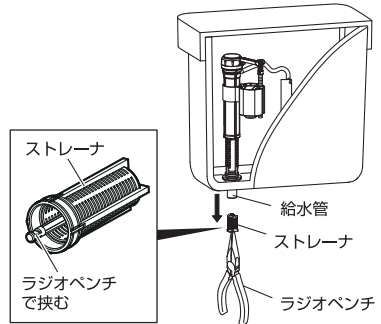
**1 止水して、給水管のナットをはずします。**



**2 ロータンクのレバーをまわし、タンク内の水を流します。**



**3 ラジオペンチでストレーナを抜き取ります。**



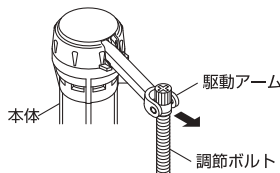
**4 ハブラシなどで網部分を掃除します。**



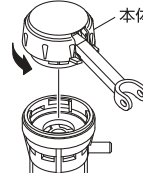
**お手入れ 止水部の掃除**

水が止まらない場合にお調べください。

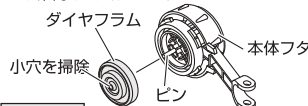
**1 駆動アームから調節ボルトをはずします。**



**2 本体フタを反時計方向にまわし、はずします。**

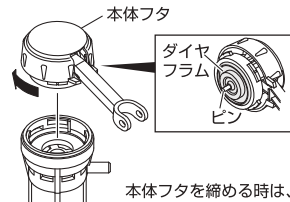


**3 本体フタからダイヤフラムをはずし掃除します。**  
ダイヤフラム部に付着している異物を取り除いてください。小穴が貫通しているか確認してください。



**注意**  
傷がつかないように注意してください。

**4 部品を元通りに組付けます。**  
(1) ダイヤフラムを本体フタにはめ込みます。  
(2) 本体フタを締めます。  
(3) 調節ボルトを取付けます。



本体フタを締める時は、本体フタを当たりまで締めてください。締め付け不足の場合は水漏れします。

**注意**  
ダイヤフラムの向き(表・裏)に注意してください。

**本体フタのピン**  
これをダイヤフラムの小穴に必ず差し込んでください。差し込まなかった場合、ボールタップから水が出なくなります。本体フタのピンはダイヤフラムの小穴のゴミつまりを防止します。

**ダイヤフラム**  
ボールタップの中でも心臓部にあたる場所です。水を止めたり、出したりする弁の役割をします。

**再使用时**  
部品が確実に取付けられていることを確認してから、通水してください。  
※止水部を掃除しても水が止まらない場合は、「故障?その前に」に従って点検してください。

**こんなときは 故障?その前に**

水が止まらない場合は、次の表に従って点検してください。

点検項目	処置
ゴムフロートにゴミかみはないか	ゴムフロートを掃除する。
止水部にゴミかみはないか	止水部を掃除する。(日頃のお手入れ/止水部の掃除参照)
ゴムフロートが摩耗劣化していないか	ゴムフロートを交換する。

以上の点検を実施されても水が止まらない場合は、お手数ですがお買い上げの販売店(工事店)に修理をご依頼ください。

**【ゴムフロートの例】**



ゴムフロート交換方法動画

